



西条市長  
青野 勝

創ろう

最上のまち西条を！



新年 謹賀



西条市議会議長  
藤田節雄

市議会の  
さらなる活性化へ！

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご健勝と限りないご清福を心からお祈り申し上げます。

さて、年頭にあたり昨年を顧みますと、「豪雪」に始まり「8月豪雨」「御嶽山噴火」「長野県北部地震」といった大規模な災害が全国各地で発生した一年でした。特に西日本においては洪水、土砂災害により、甚大な被害が発生しました。これら自然の猛威に対し予測の難しさを実感しますとともに、改めて防災体制の確立を旨に安全・安心なまちづくりを推進することが、行政を預かる者としての第一の責務であると痛感させられたところであります。

一方、市民の皆様の暮らしに目を向けますと、国の経済対策の地方への波及や景気回復を実感するまでには未だ至らず、円安を背景とした輸出関連産業の業績に光明が見られたものの、原材料価格の高騰や消費税増税による企業会計、家計への影響は看過できないものがあり、地方経済の現状は、依然厳しいものと認識しております。

そうした中、本市においては、「東予港耐震強化岸壁事業化」「国営緊急農地再編整備事業推進室設置」「内閣府地域活性化モデルケース事業選定」

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成27年の新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は市議会の活動に対しまして、皆様方の多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、地方の社会経済情勢は、政府の経済政策により、輸出企業を中心に大企業の業績は好転し、雇用情勢の改善がみられたものの、地方経済には恩恵が及ばず、依然として厳しい状況にあります。さらに、若年女性の激減により、2040年に自治体の約半数が消滅する可能性があるとの民間推計が地方に衝撃を与え、人口減社会への対応が地方自治体の差し迫った課題であることが、あらためて認識されました。

このような中、国においては、「地方創生」を掲げ、人口減対策や地方活性化に取り組み始めております。本市におきましても、中長期的なまちづくりの指針として、第2期西条市総合計画基本構想が策定されたところであります。

市議会といたしましても、市民の皆様のご意見や思いを的確に反映した市政

等、国の支援を得て将来の西条市の発展を支える大規模事業が進んでおります。さらには、国において今後本格化する「地方創生」関連施策を着実に導入、活用しながら、人口減少、地域・地方経済の活性化といった諸課題に対し真正面から取り組んでまいれる所存であります。

また、合併後10周年を迎え、各種記念事業を実施しつつ一体感のさらなる醸成に努めているところであります。11月1日の記念式典においては「西条市民憲章」が披露され、市民の皆様と行政が一体となったまちづくりの新たな第一歩を踏みだしました。

今後とも「創ろう 最上のまち西条を！」をまちづくりのスローガンとして掲げ、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け邁進してまいりたいと存じますので、皆様の上ながらのお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、市民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

平成二十七年元旦

を実現するべく、市政運営に対する監視と評価を行うとともに、市が取り組むべき課題やその解決に向けた政策を積極的に提言するなど、市の将来都市像である「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け、最大限の努力をしまいる所存でございます。

さらに、市民に開かれた議会をめざし、議会の活性化に議員一丸となつて取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後もおお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりましてご健勝で幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

新年のお慶びを申し上げます

平成二十七年元旦

西条市議会議員一同

